

元気企業
訪問

株式会社
サンウォーター

氷ノ山が水源の名水を 非加熱で商品化 全国へ販路を拡大し 地域ブランドに育てる

設備貸与制度が創業を後押し

地域に密着した住宅メーカーの創業者でもある代表取締役の三木善晴さんが新たにペットボトル入り天然水の製造業を始めたのは2012年春のこと。「住宅メーカーの社長を息子に譲った後に、また新たな事業に挑んでみようという気持ちが湧いてきました」。水に着目したのは、兵庫県の最高峰、氷ノ山を源にした清流大屋川をはじめ、地元の養父市には名水を育む豊かな自然があるからです。

氷ノ山の麓に会社を構え、敷地内で2本の井戸を掘削。無事掘り当てた水は、水質調査により、カルシウムやナトリウムの比率が高く、肌にも効果があるとされるシリカも含まれていることが分かりました。味を重視し、あえて非加

熱で商品化。「飲んだ時に口の中で甘味を感じ、喉越しもまろやか」という優れた特長を持っています。

しかし、いざ製造するとすると、ペットボトルの形状に膨らませる成形、洗浄、水の充填、商品の梱包までを一貫して行うため、設備は大掛かりなものとなります。事業化に当たって一番苦労したのは資金の調達でした。「水の製造・販売は難しい事業と判断されたのか、本業の住宅メーカーには融資してくれた金融機関も慎重でした」

自己資金を工面し、それでも不足する分を補うために、ひょうご産業活性化センターの設備貸与と制度を利用することに。「私の夢を理解してくれたこと、貸与を決断してもらったことは大いに事業の後押しになりました」と振り返り

ます。制度で充当した設備は、ペットボトルを梱包した後の箱を出荷用パレットに整然と積み上げるパレタイザ（自動積載ロボット）です。設備が整ったことで、最大で1時間に1万8,000本の製造能力を持つ工場となりました。

住宅メーカーで使用する木材は全て国産材にこだわってきたという三木さん。水の製造に当たっても、「お客さまの口に入るものだけに衛生、安全面には最大限の配慮をしています」と、ペットボトル、キャップ、ラベルをはじめ原材料は全て国産にしています。

大口の販路確保のため営業強化

ペットボトル入り天然水は、「但馬天然水」「氷ノ山のおいしい水」などのブランドで地元の道の駅をはじめとする観光施設で売っているほか、地域の量販店にも置いています。また、ホテルのプライベートブランドとしての供給も増えつつあります。折しも、2014年に養父市が農業分野の国家戦略特区に指定され、地域ブランドとして飛躍できるチャンスも巡ってきました。4月から水耕栽培野菜の生産を始める工場向けに水を供給することが決まっており、醸造酢メーカーからは、「新たに始める日本酒製造の材料として水を使



自然水の本来の風味が味わえる「但馬天然水」

えないだろうか」という打診も受けています。

「今後はさらに営業体制を強化。「大口の販路がないと成長は見込めない」

という危機感から、全国レベルの大手量販店やホテルなどに積極的に売り込んでいく計画です。

「活性化センターは設備貸与だけで

なく、販売についても側面支援していただいています。名水の地域ブランドとして未永く愛されるメーカーを目指したい」と熱く語ります。

会社概要
株式会社サン・ウォーター

所在地 養父市上筒55-2

代表取締役 三木善晴

事業内容 ナチュラルミネラルウォーターの製造・販売

TEL 079-664-2008

URL <http://www.san-water.co.jp/>

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備等の増強・更新を図ろうとする中小企業の方に代わってセンターが設備等を購入し、中小企業の方に長期（7年以内）かつ固定金利（年率1.25%～2.25%）で割賦販売またはリースするものです。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借り入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-230-8801